

平成23年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

| No | 署別 | 発生年月       | 業種名                             | 年齢<br>経 験<br>(○年以上<br>○年未満) | 事故の型         | 起因物         | 発 生 状 況   |
|----|----|------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------|-------------|---|
| 1  | 大館 | H23<br>1月  | 新聞販売業<br>(8-2-5)                | 70歳代<br>5年～10年              | 交通事故<br>(道路) | 乗用車         | 被災者は、車を止めて道路を挟んだ向かい側の家に新聞を配達するために道路を渡ったところ、右側から走行してきた軽自動車にはねられた。  |
| 2  | 秋田 | H23<br>1月  | 橋梁建設<br>工事業<br>(3-1-5)          | 20歳代<br>5年～10年              | おぼれ          | 足場          | 老朽化した橋梁の欄干部分を撤去するため、つり足場の組立て作業を行っていた。被災者は下から4段目の手すりを設置するためのクランプの取付け作業を行い、その作業終了後、約15m下の河川に墜落し、溺死した。   |
| 3  | 大曲 | H23<br>3月  | 一般貨物自<br>動車運送業<br>(4-3-1)       | 30歳代<br>10年～20年             | 交通事故<br>(道路) | 乗用車         | トンネル内で、被災者が運転する4tトラックが軽トラックに追突し、事故処理のために軽トラックの後方で双方が話をしていたところ、横手方向から走行してきたトラックと、北上方向から走行してきたワゴン車が正面衝突し、その反動で、ワゴン車が被災者らに激突した。                                    |
| 4  | 能代 | H23<br>3月  | 石油製品・<br>石炭製品<br>製造業<br>(1-8-4) | 50歳代<br>5年～10年              | おぼれ          | その他の<br>環境等 | 被災者2名は、宮城県亶理郡山元町において施工されていた建設現場で使用する資材の納入及び当該資材の設置に関する技術指導のため、当該現場に出張し作業中に、東日本大震災による津波にのみこまれ安否不明となっていたところ、3月17日に遺体安置所となっていた福島県の旧相馬高校において、2名とも家族により死亡が確認された。     |
| 5  |    |            |                                 | 40歳代<br>10年～20年             |              |             |   |
| 6  | 大館 | H23<br>5月  | その他の<br>土木工事業<br>(3-1-99)       | 30歳代<br>10年～20年             | 交通事故<br>(道路) | 乗用車         | 国道7号線上において、道路区画線工事(いわゆるライン引き)のため、同僚と2名で道路中央部付近において、巻尺を使って計測作業を行っていたところ、能代市方向から大館市方向に走行してきた軽乗用車にはねられ、その後病院に搬送されたが死亡した。   |
| 7  | 大館 | H23<br>8月  | その他の小<br>売業<br>(8-2-9)          | 60歳代<br>20年～30年             | 墜落・転落        | 屋根          | 一般住宅の屋根でアンテナの取り付け作業中、他の労働者が取り外した古いアンテナを地面に投げ落とそうとしたところ、その一部がポケットに引っ掛かり、その勢いで体勢を崩して、約4.2m下の地面に墜落した。  |
| 8  | 能代 | H23<br>10月 | その他の<br>土石製品<br>製造業<br>(1-9-9)  | 50歳代<br>1年未満                | はさまれ         | トラック        | ばら荷を積載したダンプトラックが工場内で荷卸のため後退したところ、壁代わりの仕切用鋼板に寄り過ぎたために一旦トラックを前進させ、再度後退させたときに、被災者が頭から血を流し倒れているのを当該運転者が発見した。病院に救急搬送したものの、脳挫傷で死亡した。                                  |
| 9  | 大館 | H23<br>11月 | 産業廃棄物<br>処理業<br>(15-1-2)        | 20歳代<br>5年～10年              | はさまれ         | コンベヤー       | 事業場構内の廃棄物処理施設二号炉の二次燃焼炉の下部のピット内において、灰出しコンベヤー下部に入って倒れていた合板(コンパネ、灰を一箇所に集めるためのガイド)の復元作業を二人で行い、その後一人で位置の微調整を行っていたところ、コンベヤーに付いている搔き出し板(レーキ)とコンベヤー架台のアンクル間に頭部を挟まれ死亡した。 |
| 10 | 大曲 | H23<br>11月 | 電気通信<br>工事業<br>(3-3-1)          | 20歳代<br>5年～10年              | 交通事故<br>(道路) | 乗用車         | 被災者は、高所作業車を運転し県道を走行中、対向車の軽自動車がガソリンスタンドに入ろうと右折したところに正面衝突した。その弾みで高所作業車は、ガソリンスタンド構内に進入・横転し、ガソリンスタンド内の防火壁に激突し救急搬送先の病院で死亡が確認された。                                     |
| 11 | 大曲 | H23<br>12月 | 燃料小売業<br>(8-2-4)                | 30歳代<br>10年～20年             | はさまれ         | 自動洗車機       | 自動洗車機内に車を停車させた後、一旦降車し再度、運転席に乗り入れようとしたところ、戻ってきた洗車機の外部フレームと車の運転席のドアに挟まれ死亡したものの。   |

| No | 署別 | 発生年月       | 業種名                       | 年齢<br>経 験<br>(○年以上<br>○年未満) | 事故の型  | 起因物         | 発 生 状 況   |
|----|----|------------|---------------------------|-----------------------------|-------|-------------|---|
| 12 | 能代 | H23<br>12月 | その他の<br>卸売業<br>(8-1-9)    | 60歳代<br>1年未満                | 激突され  | フォーク<br>リフト | 廃車となった2tトラックのアルミ製の荷箱(長さ約4m、縦横約2m)を地面に下ろすため、事業者がフォークリフトを操作して荷箱後方を少し持ち上げたところ、荷箱が地面に横転し、車体と荷箱の間に台木を挿入するため荷箱脇で待機していた被災者がその下敷きになった。                                |
| 13 | 秋田 | H23<br>12月 | 一般貨物自<br>動車運送業<br>(4-3-1) | 50歳代<br>30年~40年             | 墜落・転落 | 荷姿のもの       | 倉庫内で高さ5m(3段積み)に積んでいた米のはい崩しを3名で行っていた。はいを3段のひな段状に組んだ後に、高さ3m(上段)の位置に1人、高さ1.68m~2.05m(中段)の位置に被災者、床上(下段)に1人を配置し出荷していたところ、被災者がバランスを崩してコンクリート床に墜落し、頭部を強打し脳挫傷により死亡した。 |